

平成横浜病院広報誌

Sakura さくら



新任医師のごあいさつ



海老澤 良昭
Ehisawa Yoshiki

診療科目 外科・消化器科

本年4月より当院に赴任しました、海老澤良昭と申します。元々北関東の出身ですが、北海道内の大学を卒業し、消化器外科を中心に北海道で30年以上研鑽を積みました。この度、Uターンで関東に勤務することになりました。

専門は大腸肛門疾患の診断・治療です。消化管内視鏡検査や便秘症治療などを積極的に行ってきた。した。

初心に戻り、地域の患者さんに対する診療をしっかりと行っていきたくと考えています。不慣れなところも多々あるとは思いますが、どうぞよろしく願っています。



建部 雄氏
Tatebe Takeshi

診療科目 総合内科

昨年12月より当院に赴任しました、建部雄氏と申します。私は昭和大学を卒業後、東京都内の板橋中央総合病院にて初期研修を受け、後期研修のため戸塚区に移りました。戸塚区での勤務は、もうすぐ18年目になります。横浜市内のいくつかの医療機関を経て、高齢化社会に対応し、患者さんとの信頼関係を重視した診療に努めることが、自分が医師としてできることだと理解してきました。

他科の先生方やみなさまのご協力を得ながら、いつでも頼っていただけの内科を目指してがんばりたいと思います。



野田 剛
Noda Go

診療科目 内科(病棟)

本年4月より内科常勤医として着任しました野田剛です。初期研修終了後、亀田総合病院で三次救急及び集中治療に携わり、その後安房地域医療センターで二次救急の運営に関わりました。また、2017年より印西総合病院で回復期・リハビリテーション病棟の立ち上げに関わった後、オーストラリアでMBA(経営学修士)を取得しました。

これまで医師をはじめ、多職種の教育に携わってきました。当院でも教育に関わり、医療の質を向上させ、地域に貢献していきたいと思えます。



倉住 拓弥
Kurazumi Takuya

診療科目 麻酔科

本年4月より当院に赴任しました、倉住拓弥です。慶應義塾大学医学部麻酔学教室に入局後、大学病院や市中病院で周術期医療や集中治療に携わってまいりました。2021年よりテキサス大学サウスウェスタンメディカルセンターに渡り、高齢者の認知機能や脳循環の研究に従事しました。

日本の高齢化社会において、加齢や疾患による認知機能の低下予防に取り組み、世界に「高齢者医療のエビデンス」を発信できるように尽力します。当院では、安心して手術を受けられる医療を提供したいと考えています。

らくかつ 介護予防事業「楽活教室」 がスタート！



当院は地域への貢献を目標の一つとし、地域密着型多機能病院の役割を重要視しています。近隣の地域ケアプラザと連携し、本年3月から介護予防事業「楽活教室」を開始しました。「楽活教室」という名前は、「楽しくみんなで活動する」という意味を込めて名づけました。

横浜市は日本の中でも坂道が多く、特に戸塚区周辺は坂道が多いエリアとされています。そのため、安全な生活を送るためには足腰の強さが重要です。

「楽活教室」では、運動・栄養・社会参加の三本柱をテーマに、理学療法士・言語聴覚士・管理栄養士が連携して、参加者のみなさまが健康な生活を送れるよう、さまざまな講座を企画し、「楽しくみんなで活動する」ことを目指しています。

市民公開講座「ヘルスケアセミナー」 を開催しました

本年6月24日、3年ぶりに市民公開講座「ヘルスケアセミナー」を開催しました。

今回のテーマは「膝・股関節の痛みあきらめていませんか？～自宅でできるリハビリから最新のロボット手術まで～」。膝・股関節の痛みの原因や自宅でできる筋力トレーニング、当院で実施しているロボティックアーム支援手術などについて、整形外科部長がわかりやすく解説し、セミナーの後には質疑応答の時間を設けて、参加者の不安や疑問にお答えしました。

参加者からは「筋肉の重要性を実感した」「人工関節について不安が解消して良かった」といった感想をいただきました。

今後は定期的に「ヘルスケアセミナー」や「リハビリ健康教室」などを開催します。興味のある方はぜひご参加ください！

※ 市民公開講座の詳細は、随時ホームページや院内掲示でご案内します。



新体制・整形外科始動!



受け入れ体制が拡大!

当院は本年4月より、整形外科の受け入れ体制を拡大しました。新たに常勤医師3名を迎え、横浜市立大学整形外科医局の関連病院となりました。非常勤医師を含め、月曜日から金曜日は基本的に二診体制※で外来診療にあたっています。

常勤の町田医師、小林医師、外澤医師は横浜市立大学病院などでさまざまな手術症例を経験しており、ケガや事故による外傷の治療はもちろん、膝や股関節の手術を含む痛みの治療にも積極的に取り組んでいます。気になる症状がある方は、お気軽にご相談ください。

※2名以上の医師で診療すること。



ロボティックアーム手術支援システムの導入

本年4月より、ロボティックアーム手術支援システムを導入しました。神奈川県では、横浜市立大学附属病院や横浜南共済病院に次いで5番目の導入となります。

ロボティックアーム手術支援システムは、外科手術を支援する先進的な技術です。当院では主に、人工関節置換手術において傷んだ骨を削るために使用されています。訓練を受けた医師が専用の画面を通じてロボティックアームをリアルタイムで操作し、高精度な手術を行うことができます。

なお、ロボティックアーム手術支援システムは厚生労働省の承認を得ており、「変形性膝関節症」や「変形性股関節症」といった疾患に対して保険適用されます。

ロボティックアーム手術支援システムの特徴

- ☑ 術前の検査で得た情報をコンピューターに入力することで、適切な人工関節のサイズや位置、骨の切除位置や量などを表示できる。
- ☑ 手術計画から逸脱する角度や深さに達すると自動的に停止するため、術前の計画通りに手術できる。

- ロボティックアーム手術支援システムを使用した人工膝関節全置換術 (TKA)
- ロボティックアーム手術支援システムを使用した人工膝関節単顆置換術 (UKA)
- ロボティックアーム手術支援システムを使用した人工股関節全置換術 (THA)
- 変形性膝関節症に対する膝周囲骨切り術

- 変形性足関節症に対する足関節固定術
- 麻痺性足部変形の手術
- 外反母趾手術
- 骨折の治療 など

手術後は、外科的・内科的の両面から患者さんに合ったプランで、充実したリハビリテーションや栄養指導などのサポートを提供します。

執刀医のご紹介



町田 治郎
Machida Jiro

- 専門：股関節、膝関節、足
- 資格・認定等：日本整形外科学会整形外科専門医/小児運動器疾患指導管理医師/横浜市立大学医学部臨床教授

本年4月、整形外科部長に就任いたしました町田治郎です。1982年に横浜市立大学を卒業後、整形外科に入局し、横浜市立大病院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、国立病院機構横浜医療センターなどで勤務しました。2001年に神奈川県立こども医療センターの整形外科部長、16年には病院長、19年には総長として勤めました。

専門分野は股関節、膝関節、足の外科です。これまでの経験を活かし、戸塚周辺の地域医療に貢献したいと思います。



小林 大悟
Kobayashi Daigo

- 専門：股関節
- 資格・認定等：日本整形外科学会整形外科専門医/日本人工関節学会認定医/日本スポーツ協会公認スポーツドクター/難病指定医/身体障害者指定医

本年4月、整形外科に赴任した小林大悟と申します。獨協医科大学を卒業後、横浜市立大学整形外科に入局し、股関節グループに所属しながら外傷や変性疾患など数多くの症例を経験しました。専門である人工関節手術を得意とし、地域医療への貢献を目指しています。

当院で治療して良かったと言ってもらえるように、質の高い医療の提供を心がけています。月曜日の外来を担当していますので、お気軽にご相談ください。

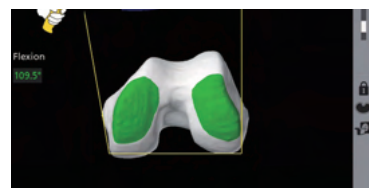


外澤 正一
Sotozawa Masaichi

- 専門：膝関節
- 資格・認定等：日本整形外科学会整形外科専門医

本年4月、整形外科に赴任した外澤正一と申します。神奈川県出身で、横浜市立大学を卒業後、同大学の整形外科に入局しました。私自身が両側の前十字靭帯断裂を経験し、膝の手術を受けた経験がありますので、膝関節の治療に特に力を注いでいます。保存加療はもちろん、自分の膝を温存することができる骨切り術や人工膝関節置換術などの手術も実施しております。

患者さんに最適な治療を提供できるよう努めますので、膝の痛みでお困りの方はお気軽にご相談ください。



手術中は、適切な人工関節の位置をリアルタイムで画面に表示できる

平成横浜病院 整形外科

☎045-860-1771 受付時間：平日 8:30～11:30/12:00～16:30

お電話でご予約を受け付けています。ご予約されていない場合でも、受診いただけます。

	月	火	水	木	金
午前	小林・津澤	水上・大垣	外澤・山田	町田・白川	水上・山口
午後	小林・津澤※	水上・大垣	外澤・山田	町田・白川	水上・山口

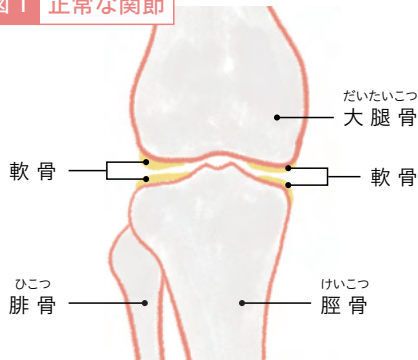
※ 第1・第3月曜

当院で
対応可能な手術

教えて! ドクター

変形性膝関節症

図1 正常な関節



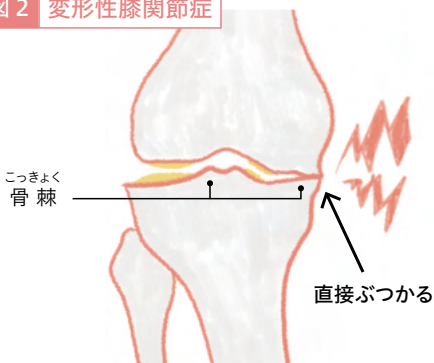
正常な膝関節の状態(図1)では、だいたいこう大腿骨と脛骨けいこつの間に隙間があり、
O脚と肥満です。また、若い時の半月板損傷による場合もあります。

■ 膝の痛みの原因
変形性膝関節症の主な原因は、
も1.5〜2倍多いと言われています。

変形性膝関節症とは

変形性膝関節症は、さまざまな原因により徐々に膝関節が変形し、痛みや腫れが現れる状態を指します。この病態は年齢とともに増加し、自覚症状のある患者数は1000万人、自覚症状のない(レントゲン画像上の変化のみ)患者も含めると約3000万人と推定されています。女性のほうが男性よりも

図2 変形性膝関節症

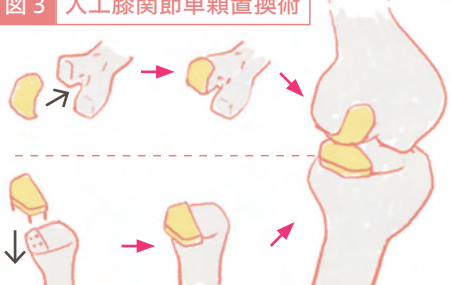


軟骨がクッションとなっています。変形性膝関節症が進行すると、徐々に軟骨がすり減り、隙間がなくなって、骨棘(骨のトゲ)が発生します。特にO脚による変形性膝関節症では、内側の骨が直接ぶつかったような状態になり、軟骨が完全になくなってしまう(図2)。

変形性膝関節症の治療

関節の軟骨が残っている状態では、減量、大腿四頭筋のトレーニング(筋力トレーニング)、ヒアルロン酸の関節注射などにより症状の進行を遅らせることができます。しかし、進行して骨同士が直接ぶつかる状態になると、手術が痛みの緩和に必要となります。

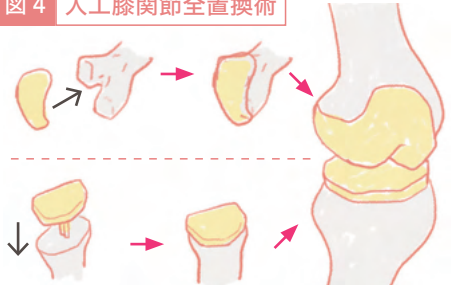
図3 人工膝関節単顆置換術



膝関節の内側、外側のどちらか(すり減っている側)に人工関節を装着する手術

手術の方法として、若くて軽症例の場合は「骨切り術」が選択され、60歳以上の患者では「人工関節置換術」が主な方法となります。
人工関節置換術には、内側の膝関節だけを置換する「単顆置換術」(図3)と、内側と外側の両方の関節を置換する「全置換術」(図4)があります。当院ではこれらの手術に保険が適用されるロボット支援システムを導入しており、事前に作成した治療計画通りに手術を行うことが可能です(前ページ参照)。
人生100年時代において、痛みのない生活を享受するためのサポートを提供できれば幸いです。

図4 人工膝関節全置換術



膝関節の内側・外側、一度に人工関節を装着する手術

こんな時は「整形外科」にご相談を!

- 動き出す時や膝を曲げ伸ばす時、安静時に痛みがある。
- 膝のあたりが腫れているなど、違和感がある。

万が一病気であれば、徐々に進行していきます。早めに受診しましょう。

総合健診センター
健康 レストラン

HEALTHY RESTAURANT

当院の総合健診センター内に併設されている「健康レストラン」では、管理栄養士と専任のシェフが共同で、味・栄養・食べごたえを考慮し、「健康に気を使いながらも、おいしく食べられるメニュー」を提案しています。



戸塚のパン屋さんと開発

- ✓全粒粉・玄米粉使用
- ✓自然酵母「海洋酵母」使用

今回のメニューでは、開業後初めて主食を「パン」にしました。私たちのコンセプトの中で、「精製された炭水化物は使わない」という考え方があります。そのため、小麦粉を主原料とするパンの採用は新たな挑戦でしたが、小麦粉を極限まで減らし、食べごたえのあるパンを提供することを目指しました。今回パンの開発・提供には戸塚のパン屋さん

「PEPPA（ペッパ）」のご協力をいただきました。戸塚区内のいくつかのパン屋さんにお声がけしたところ、「PEPPA」とはコンセプトや理念を共有できたことから、今回のコラボが実現しました。

全粒粉や玄米粉を主原料とすることで、カロリーを抑えつつもおいしく満足感のあるパンが完成しました。ぜひ健康レストランでご賞味ください。

13:00 以降にご受診の方向けに、
オプションで軽食の提供開始!



¥600(税込)

お申し込みはお電話
(045-860-1888) にて
承っております。

※人間ドックはコースに含まれています。



ご協力店「PEPPA」



[住所] 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町3982-2
[営業時間] 平日9～18時

近隣クリニックのご紹介

平成横浜病院と連携して、地域のみなさまの健康をサポートしているクリニックをご紹介します。

医療法人 桑樹会

木村内科・胃腸内科



「外来—在宅—入院」までの垣根のない医療を目指して

当院は、外来だけでなく訪問診療や終末期医療も行っています。地域密着型をコンセプトに、垣根のないシームレスな医療を目指しています。

当院はクリニックですが、入院施設がある有床診療所です。外来に通えなくなったり、認知症や人生の終末期になった場合でも、外来診療から在宅ケア、入院まで、同じ医師にかかることができます。患者さんやご家族にとって、同じ医師による診療は安心材料の一つと考えています。

患者さんだけでなく、介護をされるご家族の状況にも配慮したサポートを重視しています。地域のかかりつけ医としての役割を大切に、地域のみなさまに寄り添った医療を提供していきたいと考えています。

- [院長] 木村 貴純 [副院長] 木村 裕和
[診療科目] 内科、消化器内科、糖尿病内科、外科
[診療時間] 月～金曜 9:00～12:00 / 14:00～17:30
火曜・木曜・土曜は午前のみ
[休診日] 火曜・木曜・土曜午後、日曜、祝日
[住所] 神奈川県横浜市栄区小菅ケ谷1-23-1
[TEL] 045-894-1281
[Webサイト] <http://www.kimuraicho-ka.jp/wp/>

医療法人 MoLead

つながるクリニック



病院と連携して在宅での医療と生活を支えます

つながるクリニックの訪問診療は24時間365日対応しており、夜間・休日も診療を行っています。ご自宅において診察、検査、治療（点滴・注射・処置）、薬の処方などを幅広く提供し、「かかりつけ医」として計画的に訪問します。必要に応じて、特別な検査や治療のために病院と連携することもあります。

当院では「相談」にも力を入れています。地域連携室（相談室）には資格を持った相談員や看護師が常駐しており、いつでも相談をお受けできるようにしています。患者さんやそのご家族が安心して暮らせるように、介護サービスとも連携して診療を行っています。

- [院長] 八森 淳
[診療科目] 訪問診療、内科、もの忘れ外来、予防接種
[診療時間] 月～金曜 9:00～12:00 / 15:00-17:00
土曜は午前のみ
[休診日] 土曜午後・日曜・祝日
[住所] 神奈川県横浜市港南区野庭町665
[TEL] 045-858-2700
[Webサイト] <http://tsunagaru.clinic/index.html>



無料送迎バスのご案内

- 無料送迎バスをご利用の場合は、バス待合所「くるくる」をご利用ください。
- バス待合所「くるくる」は、戸塚パルソ出口「モリフルーツ」さん横付近になります。
- 雨でも駅から濡れずに乗降場にお越しいただけます。



※バス停留所はございません。 ※土曜・日曜・祝日は終日運休となります。



- [受付時間] 8:30～11:30 / 12:00～16:30
[休診] 土曜・日曜・祝日
[総合受付] 045-860-1777

info@yokohamahp.jp www.yokohamahp.jp

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町550番地

- [健診受付時間] 月～金曜 9:00～17:00
[人間ドック・各種健診] 045-860-1888